

計画事業番号	00225	事務事業名	全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業	担当部署	教育部教育総務課	電話	4814
--------	-------	-------	--------------------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市立中学校大会出場費助成要綱			
事務事業開始年度	昭和61年度		個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 1 節) 「生きる力」を育む学校教育の推進						
	(施策 4) 健やかな体を育てる教育の充実						
2 対象	市立中学校の生徒						
3 目的と内容	北広島市立中学校の生徒が、日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合や、予選大会を経て全道規模以上の文化部活動大会等に出場する場合にその派遣に要する費用の一部を助成し、スポーツ・文化に対する意識の向上及び心身の健全な育成を図るとともに、当該生徒の保護者、教員その他の関係者の費用負担を軽減することを目的とする。						
4 実施内容(手段)	28年度まで	全国、全道中体連の主催する大会への出場に対し、旅費等の補助として交通費・宿泊費、参加負担金を助成する。予選会等を経て、全道以上の規模の文化部活動大会、コンクール等への参加に対し、旅費等の補助として交通費・宿泊費、参加負担金を助成する。					
	29年度	昨年度と同様であるが、全国、全道中体連の主催する大会への出場に対し、旅費等の補助として交通費・宿泊費、参加負担金を助成する。予選会等を経て、全道以上の規模の文化部活動大会、コンクール等への参加に対し、旅費等の補助として交通費・宿泊費、参加負担金を助成する。					

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の一部助成 【全道大会】 6校 21件 選手40名出場 【全国大会】 1校 1件 選手2名出場 【全道規模以上の文化部活動の大会】 2校 3件 部員36名参加	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費を助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費を助成

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	心身ともに成長過程である中学生が、大きな大会の出場を目指し、やりがいをもって部活動に取り組むことは、体力向上、個性の伸長、体育技術、精神の鍛錬など、大きく成長する機会を与えるものであり、大会出場に係る保護者負担の軽減を図るうえでも、支援を継続していく必要がある。なお、引率教員の旅費に係る道教委の負担については、全国大会は対象であるが、道大会は対象外であるため、市が助成を継続していく必要がある。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			6,692		2,100		2,100		2,100	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	6,692		2,100		2,100		2,100	
	① 合計	6,692		2,100		2,100		2,100		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			7,532		2,940		2,940		2,940	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①中体連全道大会出場生徒数	目標値	人	80	80	80	80
		実績値		40			
	②中体連全国大会出場生徒数	目標値	人	2	2	2	2
		実績値		2			
③文化部活動全道大会出場校数	目標値	校	2	2	2	2	
	実績値		2				
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①	目標値					
		実績値					
	②	目標値					
		実績値					
	③	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	保護者負担を軽減し、中学生が部活動に対し十分な活動ができるように支援を行い、部活動の活性化を図るため遠征等の費用の一部を補助することは妥当と考える。 また、大会での活躍は、学校、地域住民の活性化をもたらす効果もある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	対象生徒、随行の教師が全て参加しており、それに伴う交通費等の一部を助成していることから、成果は上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	保護者負担の軽減や、生徒の部活動支援という位置付けから、助成対象となる費用の範囲について検討を行うことで、成果の向上へ繋げる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市の条例等に準じて助成を行っていることや、対象となる生徒の人数が毎年異なることから、予算の削減を行うことは難しい。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 225

<継続用>

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	全国・全道中体連大会出場費助成事業中学校文化部活動大会助成事業		
交付先の名称 及び代表者名	市立中学校	設立年	—
構成員(団体)数	市立中学校生徒 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	教育目的の中学校体育部活動、文化部活動		
交付先団体等の 活動内容	全道・全国中体連大会への出場、全道・全国規模の文化部活動への参加 全道中体連 6校 21件 選手40名出場 全国中体連 1校 1件 選手2名出場 全道規模以上の文化部活動の大会 2校 3件 部員36名参加		
事務局の状況 (28年度)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体にある <input type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	2,846	6,692	2,100	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	2,846	6,692	2,100	
支 出	旅費等	2,637	6,411	2,016	
	参加負担金	209	281	84	
	支 出 合 計 (C)	2,846	6,692	2,100	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
	全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)	100 %	100 %	100 %	
	補助・交付金の対象経費(項目)	全項目	全項目	全項目	
	補助・交付金の対象経費(金額)(D)	2,846	6,692	2,100	
	対象経費に対する補助または交付金の割合(A)÷(D)	100 %	100 %	100 %	
	補助・交付金の算出根拠	旅費、宿泊費については、市の規定により算出した額、借上料、大会参加負担金(出場料)について全額補助する。			